

新年度スタート！～入学式が終了～



大形中学校 校長室だより 夢・希望・未来

令和3年4月8日
第1号

入学式式辞(抜粋・要約)

新入生の皆さん、入学おめでとうございませう。また、保護者の皆さまにおかれましては、我が子の晴れ姿を目の当たりにされ、感慨も一入のことと存じます。心からお祝い申し上げます。

新入生の皆さん、中学校では小学校以上に自分で決めて、自分で行動することが求められます。人と考えが違っていても、自分の考えを堂々と主張できる。望ましい行動を自分で考え、他に流されることなく自分の判断に基づいて行動できる。また、その一方で、異なる考えの者同士によって、多数決によらず全員の納得と合意を目指して答えを探すことができる。これまでの経験にしがみついて同じことを繰り返したり、すぐにあきらめたりするのはなく、可能性を探り、新たな取組を自分たちの力で創り出すことができる。これらのことが、時代が大きく変わるこれからのことをたくましく生きる皆さんに求められているのです。

皆さんは、入学とともに大形中学校生徒会の会員となります。そして、自分たちの学校生活を、自分たちの手でより望ましいものにしていくことができます。権利や自由を手に入れます。ただし、大きな責任とともに、です。

低きに流れるのではなく、自分たちで高い山を目指し、困難に打ち勝ちながら歩みを進める中で、自分自身を、そして自分たちを高めていきましょう。

そのために大切なことは、「目指す姿」をしっかりとつこと。単なる目標を超え、「なりたい自分」「なりたい自分たち」の姿を見いだすことが、その実現のためのエネルギーになるのです。

この「目指す姿」を自分たちの力で達成するには、大きな努力が必要です。しかし、その努力の先にこそ、達成感があり、成長があるのです。

そのため、私たち教職員は、皆さんに安易な「転ばぬ先の杖」を持たせません。横道にそれることのないがちのレールを敷きません。指導すべきは徹底して指導し、必要な支援を惜しまず行い、皆さんが決めるべきことに対しては、勇気をもって決定権を委ねます。そして、よりよい大形中学校を、新入生を含む全校生徒の皆さんとともに創っていきたいと思います。ワクワクする学校生活が今日から始まります。

これからの時代は、保護者・地域との連携・協働が強く求められる時代です。「地域とともにある学校」として、保護者・地域としっかりと手を携え、子どもを真ん中に置きながら、真摯に教育活動に邁進する所存です。どうぞ、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

新入生の皆さんがこれからの学校生活の中で、互いに認め合い、支え合い、高め合いながら、たくましく成長してくることを大いに楽しみにして、式辞といたします。

令和三年四月七日
新潟市立大形中学校長 永井 一哉

歓迎の言葉（抜粋・要約）

在校生代表 南雲 渚

暖かな春の日差しに包まれて、花の香りがそよ風に運ばれてくる季節になりました。新入生の皆さん、このたびは大形中学校へのご入学おめでとうございます。在校生一同、心より歓迎いたします。

さて、新しい制服に身を包む皆さんは、今、どんな気持ちでいるでしょうか。これからスタートする新生活への期待と同じくらい、環境の変化への不安や緊張を感じていることと思います。

二年前に入学式に出席した私も、これからうまくやれるのだろうかと不安な気持ちを抱いていました。ですが、新入生の皆さんには安心して入学してほしいと思います。なぜなら、今日から皆さんには支えてくれる皆さんの先輩がいるからです。困った時はためらわずに、私たち先輩や先生方を頼ってください。私たちが必ず皆さんの力になります。

中学校では学習の様子が変わります。教科ごとに担当の先生が違い、その教科についてより専門的に詳しく学ぶことができます。それに加えて、定期テストが年四回実施されるので、学んだことがしっかりと身につくという点でも学習が充実しています。

そして、大形中学校には代表的な二つの行事があります。一つ目は体育祭です。私たちは大空祭と呼んでいます。

学年の壁を越えて、全校生徒をいくつかの連合に分け、応援、競技、パネルの三つの部門で優勝を競います。この行事ではどの連合も優勝を目指して練習に燃え、全校が暑くなります。だからこそ、本番を終えるのですがすがしい達成感を味わえます。

二つ目は合唱コンクールです。私たちは大地祭と呼んでいます。各クラスが金賞を狙い、団結して練習に励みます。素晴らしい歌声がこの体育館中に響き渡り、心が震えるほどの感動が味わえます。

これらの行事を今年は皆さんと一緒に迎えられると思うと、楽しみで仕方ありません。

最後に、私から皆さんに伝えたいことがあります。それは、人とかかわり合いを大切にしてほしいということです。周りの人と積極的にふれ合って、より深い関係を築くことで、皆さんの中学校生活は何倍も楽しくなるはずで、三年間という短い中学校生活をぜひ謳歌してください。

新入生の皆さんが実り多き素晴らしい中学校生活を送られることを祈念して、歓迎の言葉とさせていただきます。



誓いの言葉（抜粋・要約）

新入生代表 佐藤なのは

咲きほこる桜に見守られ、私たちは大形中学校の新年生として入学しました。喜びと緊張の中、新しい校舎へ足を踏み入れました。

これから始まる中学校生活を創り上げていくために、次の三つに力を入れていきたいと思っています。一つ目は学習です。中学校では定期テストがあると聞きました。定期テストなどですっきりと力を発揮できるようにするために、日頃から予習や復習をし、今まで以上に集中して取り組んでいけるようにします。

二つ目は部活動です。中学校では部活動が始まり、新しいことについて知ることができると思います。先生や先輩方のアドバイスを聞き、精一杯頑張っていきたいと思っています。三つ目は協力です。中学校では小学校とは違い、体育祭や文化祭は生徒が中心となって創り上げるものだと聞きました。何事も一人で創ることはできません。だから、最高のものを創り上げたと思えるように全力で取り組み、協力し合って頑張っていきたいです。

これから私たちの中学校生活を支えてくださる先生方や地域の皆さん、先輩方、よろしくお願ひします。



お知らせ&お願ひ

【お知らせ】

学校だよりとは別に、不定期ですが校長室だよりを発行します。学校に関する情報や校長としての考えを発信していきたいと思っています。

【お願ひ】

各種たよりやホームページ等で学校の様子や生徒の生き生きとした活動の姿をお知らせするために、今回のたよりのように生徒の写真や氏名を掲載することがあります。

情報発信の方法や範囲によって、個人情報のある一定の保護に努めながら行っています。画像や氏名の掲載に不安がある方は、教頭までお知らせください。ご相談させていただきます。ご理解を得ながら進めていきたいと思っています。

自己紹介

校長 永井 一哉



大形中は、教諭時代に七年間勤務した学校で、「戻ってきた」という感じ。生徒の自主性を尊重し、「生徒が輝く学校」を創ること、そして、保護者・地域と連携・協働し、「地域とともにある学校」を創ることに努めます。どうぞ、よろしくお願ひいたします。